

# 東部地区社協だより

発行 佐倉東部地区社会福祉協議会  
会長 小玉 克哉  
事務局 月・木 10時～15時  
TEL:043-484-6033 FAX:043-486-2518  
toubusakura@yahoo.co.jp

## 第3回佐倉東部 ふれあいまつり 世代を超えて楽しみました

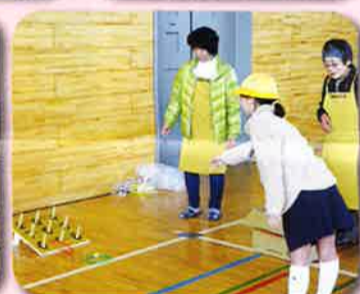


11月29日(日)、三世代交流を目的とした「第3回 佐倉東部ふれあいまつり」を白銀小で開催し、200名を超える方々に参加していただきました。

体育館では白銀小児童による合唱、ボランティアによる手品や昔あそび、運動場ではグラウンドゴルフ、やきそば、お雑煮などで、ご家族そろって楽しいひと時を過ごしました。

また、佐倉警察署からは、振込詐欺についてのお話をいただきました。

前日、当日も朝早くからご協力いただいた学校関係者や福祉委員、ボランティアの皆さん、ありがとうございました。



### バス研修 本所防災館・貨幣博物館

## すごかった！災害体験

昨年11月24日(日)、防災意識の向上を目的として、本所都民防災センター(本所防災館)のバス研修旅行に福祉委員37名が参加しました。

本所防災館では、まず、防災シアターで過去の被災事例のビデオを観ながら防災の必要性について学んだあと、2つのグループに分かれ、地震、消火、都市型水害、暴風雨と4つの模擬災害を体験しました。インストラクターから説明を受けながら、模擬災害を通じ、防災行動力を身に付けることができ、参加者からはとても有意義だったとの声が多く聞かれました。

本所防災館は団体でも個人でも見学は無料です。いざという時、慌てずに行動できるように体験されてはいかがでしょうか。

次に、もう一つの訪問地である日本銀行金融研究所貨幣博物館に行き、日本の貨幣の歴史および世界の様々な通貨の学習、見学を通して見聞を広めました。



### 暴風雨体験



風速30mを体験しました

### 地震体験



震度7立っていることができません

### 住民福祉懇談会

2月15日(日)、中央公民館で住民福祉懇談会を開催しました。市の防災防犯課の職員による防災に関する講話では、東日本大震災における市内の被害状況や市の防災体制についての説明があり、その後、参加者同士で意見交換を行いました。

災害の被害を最小限にとどめるためには、自助、共助、公助が必要ですが、なかでも共助の果たす役割は大切です。日頃から地域住民が仲間意識を共有できるような取組として、防災意識の啓発活動の実施やイベントの開催、あいさつ運動の実施などが有効となるそうです。





# あいさつ運動はじめます!

誰もが安心、安全に暮らすことができる「支え合いのまちづくり」を推進するために、あいさつ運動を始めます。はじめとして、佐倉地区青少年育成住民会議や白銀小学校区まちづくり協議会の協賛を得、佐倉小、佐倉東小、白銀小、佐倉東中の児童・生徒の皆さんにあいさつ標語募集を行いました。

たくさんの応募の中から、各校4作品ずつの標語を大賞として選出し、その標語ののぼりを作成し各校に寄贈します。

佐倉東中近くの要行寺から、血清センター前を通り大蛇市営住宅入口までを試験的に『あいさつ通り』と呼称して、応募された標語を掲示します。

詳細は次号でお知らせします。



## ご協力ありがとうございました

## 敬老会アンケート集計結果

よりよい敬老会にするために、民生委員の協力を得、地域内の敬老会対象者に対し、アンケートを実施しました。(対象者2406名より不作為抽出により440名に実施)

敬老会に参加されましたか。	
① 参加した	119
② 参加できなかった	129
③ 参加しなかった	2
参加した方におたずねします。	
《会場について》	
① 会場(3小学校)は今のままで良い。	119
② 会場を変えて欲しい。	4
《イベントについて》	
① 会場でのイベントは今のままで良い。	84
② もっと内容を変えて欲しい。	6
《お菓子について》	
① テーブルのお菓子は良かった。	103
② テーブルのお菓子は良くなかった。	10
参加できなかった方におたずねします。	
① 交通手段(バス等)があれば参加したい。	10
② 会場までのお手伝いの方がいれば参加したい。	8
③ 参加したいと思うが、出来ない。	59

回収数250枚/440枚  
回収率57パーセント

以上の結果を踏まえ来年の敬老会は今まで通り、3小学校で開催することにしました。

イベントやお菓子等についても、おおむね好評なご意見であったため、内容についても継続する方針としました。

敬老会に関するアンケートは市内の地区社協でも初めての試みだったのですが、対象者の皆様からは、地区社協および福祉委員、関係者の皆様に対する感謝の声が多く寄せられました。

## 地域福祉のネットワーク化をめざして



京成佐倉駅近隣には、佐倉地域包括支援センター(高齢者)、地域活動支援センター「木ようの家」(障がい者)、ヤングプラザが、それぞれ活動しています。

これからの地域福祉は、対象者ごとのタテ割り福祉だけではなく対象者を越えて連携し合う「ヨコのつながり」(ネットワーク)が、孤独や孤立を防ぎ、誰もが安心して暮らせるまちづくりに不可欠であります。11月よりこの3者に東部地区社協を加えた4団体が月1回集まって、情報交換と福祉のまちづくりを検討する「地域連携会議」を立ち上げました。

地域活性化や拠点づくりについて意見交換を始め、連携事業の第1弾として、地域の子どもから高齢者まで、障がい者と一緒に運動と交流を楽しむミニ運動会を2月21日に中央公民館で開催しました。

当日は65名が参加し、大玉ころがし、玉入れ、障がい物競走、しっぽ取りなど、互いに競い合っていていきいきと輝いていました。最後に「ようかい体操」で大いに盛り上がり、みんな笑顔で楽しい2時間はあっという間でした。アンケートでは、このような交流事業をもっと増やしてほしいという声が多く寄せられました。また企画しますので、ご期待ください!ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

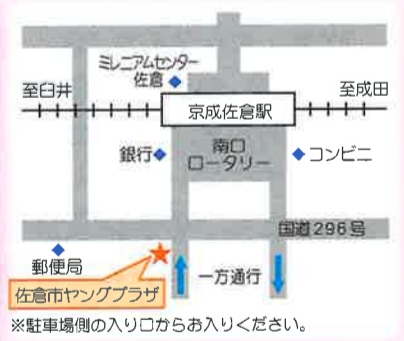
### ボランティア紹介

## ヤングプラザ

「佐倉市ヤングプラザ」は、放課後や休みの日など、気軽に寄って楽しめる施設です。施設の中は、卓球や楽器の練習ができるスペース、おしゃべりをしたりするスペース、学習をするスペース、パソコンができるスペースなど、使い方は様々です。本やおもちゃもたくさん置いてあります。中でも、楽器の演奏ができる多目的室は毎月予約がいっぱいで、音楽を通じて学校の枠を越えた交流の場所となっています。

また、ヤングプラザでは多数のイベントを実施しており、定例企画として毎月1回「けん玉」のイベントがあります。子どもから大人まで楽しめ、参加者は技を身に付け少しずつ上達しています。他にも、ヤングプラザで楽器を利用する利用者どうしが協力して行う「ヤンプライブ」があります。ヤンプライブでは高校生が主体的に活動し、大きな盛り上がりを見せています。

子ども達が楽しめ、みんなの居場所となれるよう様々な取り組みを行っておりますので、是非一度ヤングプラザを覗いて見て下さい。新しい出会いと発見があると思います。



開館時間：9:00~19:00  
休館日：年末年始  
〒285-0014 千葉県佐倉市栄町8-7  
TEL:043-484-6431 FAX:043-481-1801  
URL: <http://youngplaza.shiteikanri-sakura.jp/>  
E-mail: [info@youngplaza.shiteikanri-sakura.jp](mailto:info@youngplaza.shiteikanri-sakura.jp)

## ひとり暮らし高齢者昼食会 高齢者福祉事業部

### クリスマス

12月12日ミレニアムセンターで開催し、51名の方が参加されました。

メニューはシチューとイチゴケーキ及び果物等で、食後はサンタクロースが登場し、参加者に靴下をプレゼントしました。暖かく過ごせると大喜びでした。



### おひなさま

3月3日、ミレニアムセンターで開催し、51名の方が参加されました。佐倉警察から振込詐欺による被害を防ぐ方法についてお話をいただきました。

食事の後は、ひな祭りや、春の小川等を大きな声で歌い、楽しい時を過ごしました。



## 歳末たすけあい 街頭募金

昨年12月1日(月)、京成佐倉駅前歩道で行い、12,969円が集まりました。

皆様の善意は千葉県共同募金会佐倉支部に納められ、地域の福祉活動に利用されます。ご協力ありがとうございました。